

シンポジウム

山林寺院の原像を求めて

— 栃本廃寺と摩尼寺「奥の院」遺跡 —



喜見山摩尼寺(鳥取市覚寺)の「奥の院」遺跡



中国最古の石窟寺院 キジル千仏洞

日時 平成23年 **12月17日(土)** 13:00~

会場 重要文化財「仁風閣」2階 謁見所 **定員70名**

鳥取市東町2丁目121 ※仁風閣周辺に駐車場はありませんので、会場へは徒歩でお越しください。

平成9年に発掘調査が始まり、同20年に整備に着手した国史跡「栃本廃寺跡」(鳥取市国府町)の事業がこのたび完了しました。7世紀に遡る山間部の伽藍に塔・金堂・講堂などの遺構が残っており、長年の調査研究を反映した整備に注目が集まっています。一方、鳥取環境大学浅川研究室は因幡一の霊山、喜見山摩尼寺(鳥取市覚寺)の「奥の院」遺跡で昨年度発掘調査をおこない、今年度は遺物の自然科学的分析とともに建築考古学的復元研究を進めています。このたび環境大学と鳥取市教育委員会の共催で、栃本廃寺と摩尼寺奥の院に代表される「山林寺院」のシンポジウムを企画しました。学術的に不明なところの多い「山林寺院」の実像に迫るとともに、山間地域の再活性化にこれらの文化遺産をいかに活用すべきか、考えてみたいと思います。

次 第

1. ご挨拶

13:00~13:10 中川 俊隆 (鳥取市教育委員会教育長)

2. 趣旨説明

13:10~13:25 浅川 滋男 (鳥取環境大学大学院研究科長)

3. 仏教寺院の原像を求めて

13:25~14:05 箱崎 和久 (奈良文化財研究所遺構研究室長)

講演1「山林寺院の研究動向 - 建築史学の立場から -」

14:05~14:45 眞田 廣幸 (前倉吉市教育委員会次長)

講演2「キジル千仏洞をたずねて - 中国最古の石窟寺院 -」

14:45~15:00 休憩

4. 栃本廃寺と摩尼寺「奥の院」遺跡

15:00~15:30 加川 崇 (鳥取市教育委員会事務局文化財課 主任兼文化財専門員)

報告1「栃本廃寺跡の調査と環境整備」

15:30~16:00 岡垣 頼和 (鳥取市都市整備部建築住宅課/前鳥取環境大学大学院)

報告2「摩尼寺奥の院遺跡 - 発掘調査と復元研究 -」

5. パネル・ディスカッション

16:00~17:00 司会: 浅川 滋男

討論者: 講演者(箱崎、眞田、加川、岡垣)

中橋 文夫 (鳥取環境大学建築・環境デザイン学科教授)

6. 閉会の辞

17:00 閉会

主 催: 鳥取環境大学

共 催: 鳥取市教育委員会

後 援: 鳥取県教育委員会

事務局: 鳥取環境大学浅川研究室 (清水・檜尾)

TEL & FAX 0857-38-6775

裏面に栃本廃寺跡バスツアーのご案内があります。